

楽しく呼吸ニュース

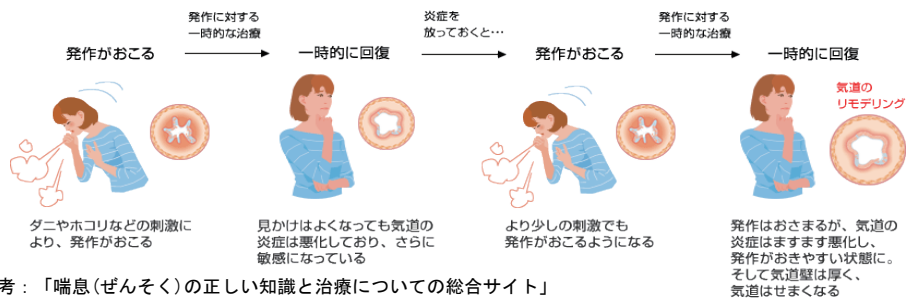
2017.3.29 発行
No. 39



今回は、薬剤師さんからぜん息とCOPDの治療薬についてのお話を聞き、みんなで学習しました。

ぜん息の治療をしないとどうなる？

毎日の気道の炎症治療をおこなっていると、気道がますます敏感になり、発作をくり返すという悪循環におちいります。その結果、気道壁が厚く硬くなります。これを「気道のリモデリング」といいます。



参考：「喘息(ぜんそく)の正しい知識と治療についての総合サイト」

お薬の特徴を知りましょう

吸入薬にはpMDIとDPIがあります。

pMDI (加圧式定量噴霧吸入器)

- ・吸気力が低い場合でも吸入しやすい。
- ・添加物によりむせることもある。

DPI (ドライパウダー吸入器)

- ・噴霧と呼気のタイミングを合わせなくても吸入可能。
- ・吸う力が弱いと正しく吸入できない



pMDI

DPI

服薬アドヒアランスが良くなるお薬を選びましょう

服薬アドヒアランスとは？

患者様自身が病気を受容し、治療方針の決定に参加し、積極的に治療を行おうとする態度のこと



服薬アドヒアランスを良くするには…

- ・現在の状態、症状に合ったもの (例：使用量、粒子径など)
- ・副作用がなく、体に合ったもの
- ・操作が簡単なもの
- ・生活スタイルに合った吸入薬 (例：1日1回 or 1日2回など)

アドヒアランスが良くなる吸入薬を継続し、ぜん息やCOPDを上手にコントロールしましょう！

次回の お知らせ

第42回 楽しく呼吸会

呼吸器疾患で苦しむ患者さん同士、日頃の病気の悩みを交流したり、勉強会などを開催しています。病気と向き合い、お互いが支え合っていくためにつくられた会です。ぜひ気楽にご参加くださいね。

テーマ：「COPD、自己管理について」

5月18日(木) 14:00～15:30

のぞと診療所

講師：理学療法士

